

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

第13回埼玉フェスタは9月第2週末
今年のテーマは「**あなたが主役、未来に向かって**」
音楽祭や個人作品展示、
論文発表など、盛り沢山に

今年開催される第13回埼玉フェスタに関する詳細が、まとまりつつある。開催日は、9月14日(土)と15日(日)の第2週末となった。今年のテーマは「あなたが主役、未来に向かって」となっている。そして、永年恒例となっていた一般公開講演会の開催は、昨年に続き行われない。

昨年からフェスタの内容は大きく変革されたが、今年も、その変革の波は一層活発に広がっている。15日の土曜日には、昨年から始めた音楽祭が8階講堂で挙行政され、独唱や合唱、楽器演奏などの個人演奏が楽しめる。現在は、その出演者を募集している。また、毎年、参加者全員が楽しみにしている恒例のジャズ・コンサートも、この音楽祭の中で行われる予定だ。ジャズ・ライヴの演奏者は、今年も田口幸治氏をリーダーとした「サウンド・ペーパーズ・ジャズ・オーケストラ」で、埼玉同窓会会長の鈴木さとみ氏がピアノを担当する。数々のスイング・ジャズの名曲演奏が期待される。14日、15日の両日には第4・第5講義室にて、

毎年恒例の個人作品展示が予定されており、在学生のみならず、卒業生や教職員の絵画や写真、書芸作品などを募集している。また、特別展示として、造形サークル「パレット」の作品展示が予定されている。

また、フェスタ期間中の企画展示として、第3講義室において「卒業研究や修士論文の発表」が予定されており、この参加者も募集している。応募資格は放送大学の学部卒業生・修士修了生で、卒業研究や修士論文の発表と展示が行われる。例年通りに行われるイベントは、バザーや古書販売などの各団体の展示や俳句・川柳の投句募集と展示が決定している。加えて、「お茶席」での抹茶を楽しむ事もできる。また、英語倶楽部が英語

による日本文化の紹介やクイズゲーム、英語の歌を歌ったり、ネイティブな英語講師による英語レッスンなどを予定している。体験広場においては、お茶、生け花、ダンス、楽器、体操などを体験できるコーナーを新設するほか、同じく、今年新設するお祭り広場では、占いや大道芸、手回し蓄音器などの実演も企画されている。

最終日の15日(日)には、8階講堂で各サークルの発表会が行われる。朗読劇やソシアルダンス、健康体操研究会等の発表が予定され、8階講堂での懇親会パーティーも15日に計画されている。

フェスタに関する詳細なチラシは、9階ロビーに用意されている。沢山の学生諸氏の参加・応募を期待したい。(冬木)



就任のご挨拶

埼玉学習センター 所長 堀尾健一郎

本年4月より渋谷治美先生の後任として埼玉学習センター所長に就任いたしました堀尾健一郎と申します。3月までは埼玉大学の工学部機械工学科に勤務しておりました。面接の経験がなただけではなく、放送大学のこと、大学のこともほとんど何も知らな

が、少しずつ歩んでいるという状況であります。放送大学に赴任して大きく感じていることは、学生の皆様が熱心に勉学に取り組んでおられることにあります。その意欲の背後には、放送大学で学ぶことを積極的に選

いまま着任してしまっていました。自分が所長職の責任が果たせるのか、というところから始まりました。長職の責任が果たせるのか、というところから始まりました。長職の責任が果たせるのか、というところから始まりました。

ければと思います。ご遠慮なくお申し出いただけます。ご遠慮なくお申し出いただけます。ご遠慮なくお申し出いただけます。

5月の連休明けから、ニューシヤトル改札前の柱に、放送大学・埼玉CSCの広告が掲示されている。公開講演会などの開催情報も得る事ができる。



事務室からのお知らせ

2019年度 第1学期の単位認定試験

2019年度第1学期の単位認定試験は、7月19日(金)～7月28日(日)まで行われます。

試験日時等をご確認のうえ、遅刻などのないように受験してください。

なお、7月26日(金)は学習センターが閉所となりますので、ご注意ください。

第2学期の科目登録

2019年度第2学期の授業登録は、2019年8月15日(木)から開始され、締切りは次のとおりです。

郵送 8月30日(金)

《本部必着》

インターネット(システムWAKABA) 8月31日(土) 24時まで

卒業研究ガイダンス

次の日程で、卒業研究

を行います。

個別相談、施設見学など

を行います。

第13回埼玉フェスタについて

実行委員長 南雲 功

1月18日の埼玉CSC交流会会議にて、2019年度の実行委員長に指名されました南雲功と申します。この紙面をお借りして、ご挨拶と今年のフェスタの概要について述べさせていただきます。過去12回のフェスタでは各サークルがそれぞれの活動を中心に活発に行われてまいりました。関係各位のご尽力に感謝申し上げます。この流れをサークルや同窓会に所属していない一般学生にも参加を呼びかけ、面接授業やテストの他に大学に來ない多くの学生にも呼びかけ、共に学ぶ仲間を広げる機会としてのフェスタになればよいと考えております。

そこで「あなたが主役、未来に向かって」をテーマにフェスタ実行委員会をCSC交流会の下部組織として、立ち上げました。そこでできた学友たちと勉学や、人生のことなど話し合える場をめざします。実行委員として、参加サークルの代表の他に、各企画、懇親会、音楽祭など18の部門でサークルを離れた個人の資格で責任者になっていただくと、運営してまいります。これまでのサークル発表に

加えて、個人に積極的に参加していただく企画として、以前から始めた音楽祭での個人演奏、および研究論文発表に加え、今年からお茶、生け花、ダンス、楽器、体操などを体験できるコーナーを新設します。お祭り広場では占い、大道芸、手回し蓄音機などを企画中です。また、皆さんから不要になりまし書籍を寄贈いただき、安価で販売したいと存じます。この広場の収益は、むぎの会を通じて陸前高田「ハナミズキのみち」の会へ寄付する予定です。縁日のような場所を提供できればと考えています。さらに、和・洋の空間でライブ演奏を聴きながらお茶を飲みながら、さまざま語らいの場を企画しております。

以上のような初めての企画には、多くの学生、同窓生の協力が不可欠なため、多くの方の参加を呼びかけ、下さるようお願い申し上げます。演技、出品、発表、寄贈などのご案内は、ポスター等でご案内申し上げます。また、新企画の提案やご意見もおよせください。

島内裕子教授がNHKラジオを担当

放送大学・島内裕子教授が、7月からNHKラジオ「こころをよむ」を担当される。島内教授の専門は中世文学、日本文学で、特に、「徒然草」の研究で知られている。

NHKラジオ第2放送の「こころをよむ」は、文学・美術・心理学・歴史学などの各分野における第一人者が、現代人が抱える老いや家族、環境など、様々な問題を率直に忌憚なく話す事で、解りやすく読み解いて行く番組である。

放送日 毎週日曜日 6時45分～7時25分
再放送 翌週土曜日 18時～18時40分
なお、スマホでのNHKラジオの視聴には、APPSストアから無料のアプリ「らじるらじる」をダウンロードすることで可能になる。

「児童虐待被害」 今年3月の警察庁発表によると、2018年の児童虐待事件は1380件、前年比21.3パーセント増で、被害にあつた子供は約1400人、対前年19.3パーセント増で、児童相談所への通告数は約8万人、うち緊急保護が4600名にも達しており、問題の深刻さが年々増加している。

学生手帳

「児童虐待被害」 今年3月の警察庁発表によると、2018年の児童虐待事件は1380件、前年比21.3パーセント増で、被害にあつた子供は約1400人、対前年19.3パーセント増で、児童相談所への通告数は約8万人、うち緊急保護が4600名にも達しており、問題の深刻さが年々増加している。

具体的な事件を挙げると、東京都目黒区の5歳児は両親の虐待を受けて死亡。横浜では母親により、重度のやけどを負った3歳児が自宅に放置され、しかもその間、両親はパチンコに出かけて家に不在であったという。福岡では、10項目もの誓約書に違反したという理由で、8歳児の手足を縛りに浸して放置した。千葉県野田市では、小学4年生の女児が、日ごろの父親の暴力をアンケートの回答で学校に訴えたが、その文面コピーを学校は父親に提供してしまった。その結果、父親が激怒して、理不尽にも自宅の浴室に放置し、死亡させてしまった。

以上4件の事件から鑑みると、一番信頼している両親からの虐待であり、子供としては逃げ場のない日常生活の中で、虐待に晒されていたという結果と思われる。特に野田市での事件は、同市に住む私としては、児童相談所や学校での対応のまずさに驚きを通り過ぎて、怒りを禁じえない。

ぜひ、対応部署の「児童虐待防止法」の厳密な運用と、しっかりと「対応マニュアル」の見直しを含めて早急に検討されて、改善の実施をお願いしたい。

私の本棚から

放送大学客員教授
大橋容一郎

『舟を編む』

三浦しをん著
光文社 2012年

舟を編む



三浦しをん

光文社

はじめまして。大橋容一郎です。近現代の哲学思想を専門にしています。おもに「知ること」つまり認識について考えてきました。「知」はラテン語ではscientia、現代語にすれば「科学」です。「知る」ことを考える「認識論」は、科学論にもなります。人間の認識と科学との関係を詳しく分析したのは、何といてもイマヌエル・カントでしょう。ですから私もっとも回数を重ねて読んだ本は、カントの『純粋理性批判』です。しかし、今日ご紹介するのはカントの『純理』ではありません。人間の「知」

の集積は、さまざまな「辞書・事典」として結晶しています。私はたまたま、『広辞苑』や『哲学・思想事典』など、たくさんの辞書作りに関わってきました。辞書作りは、人文学のもっとも根底をなす仕事です。しかし同時に、ひとりの執筆者の考えた語釈（言葉の意味）が、長きにわたって人々の知識の基礎になるという、たつたひとり人間の大きな星空に向きあうような、他に例を見ない不思議な感覚を含んでいきます。

何千万の項目を持つ辞書は、項目を選定し執筆者を決定するのに何年かかかります。私の関係したある事典は出版するのに20年以上かかりました。その間に半分以上の期間で、ようやく執筆段階になったり、船を建造するようなもので、全貌はほとんど見えません。その間、刊行を見ずに亡くなってしまったり、監修者や執筆者もいます。刊行したら、すぐ訂正版や次の版の刊行を考えねばなりません。ヨーロッパの伝統的な宮殿や聖堂は完成に何百年もかかり、多くの主は建築中の工事現場に住みつづけました。日本ではそ

うした例は少ないし、これまで百年単位でしか変わらなかった文化の傾向は、現代では10年単位で変わります。大型の辞書を作り、時代の長大なうねりを感じる不思議さも減っているようです。それでも辞書・事典の各項目は、そうした人類文化の歴史的な大小のうねりを感じながら書かれるものだと、というのが私のこれまでの実感です。

前置きが長くなりましたが、辞書作りの不思議な実感と、その間に起る人間の事実をほぼそのまま描いている本があります。もうかなり前ですが2011年に出版され、2012年の本屋大賞を受賞した三浦しをん『舟を編む』（光文社）です。アニメにもなり、松田龍平が主演した映画は日本アカデミー賞の最優秀作品となったので、ご存知の方も多いでしょう。話がつまらないという評もありました

が、ひとりで大きな星空を見ていてもつまらない人多い、ということでしょう。小説でも映画でもモチーフとなった、「暗い大きな海のうねり」を渡っていく船」というイメージの不思議さは、私の知っている辞書作りの実感にとってもよく合っていました。

一見したところ、分厚いばかりで中立的で無機質にも見えますが、辞書・事典は、編纂者の意図や執筆者の思いの長大な集積です。18世紀フランスの『百科全書』がフランス革命をもたらしたのは、辞書の中に時代の大きなうねりが感じられたからでしょう。現代はもはや紙の辞書の時代ではないと言われます。それでも辞書・事典に心が惹かれ、そこに思想や文化の宇宙を感じつつける人がいることは、やはり大事なことなのではないかと思

7月の公開講演会

◆7月13日(土) 10時半〜12時半
21世紀の思想
講師 大橋容一郎
(放送大学客員教授)
場所 8F 講堂

◆7月13日(土) 13時〜17時
「絵画サロンこざわ」
ドローイングと
デッサン
講師 小澤基弘
(放送大学客員教授)
場所 8F 実験室

俳句 つみ草 六月十三日

兼題「桐の花」

ロッセティの唇赤し百合の花
語り終へ父の眼差し桐の花
揚羽蝶かすかに震ふ付け睫
新しき後のティアラ桐の花
桐の花夕日うつろふ裾廻かな
桐咲いて嫁入り箆筒なりにけり
蓮の寺女のご隠れ切支丹
唐衣裳里山霞む桐の花
紫陽花の天の打水日照り雨
麦秋や馬の埴輪に金具跡
名水にしづもる豆腐桐の花

見学歓迎 第2木曜日午後1時

明美 十詩 功 とき江
みさ子 安代 八重子 厚子 順 由美

江戸時代の古文書を読む会

★7月13日(土)
勉強会 放送大学9F

★7月20日(土)
勉強会 シーノ大宮

★8月10日(土)
講演会 放送大学8F

朗読の会「こころ」

★6月28日 9F第3
9時半〜16時

★7月5日 8F講堂
10時〜13時 / 9F第1
13時〜17時

★7月12日 9F第3
13時〜17時

★8月2日 / 30日

熟年会

★勉強会 7月2日 原
子力の話 8月20日 介
護について

★パソコンサラバ 8月
6日 午前は自主学習。
午後は講義「[Face]関
数の続編」。

★木曜名画座 6月25日
10時〜8月29日

生涯学習奨励賞
金剛賞・金賞受賞者
アンケート

—生涯学習奨励賞の金剛賞・金賞を受賞された7名の方々のうち4名の方から回答を頂いた。

Q 放送大学入学のきっかけ

熊井純子 看護師として働いて、「家に帰りたい」と願う患者さんの思いや、92歳の義母の在宅介護を通して、地域との連携を強く感じ、専門的な知識を学び、地域のボランティア活動に生かしたいと思ったから。

川崎孝二 環境問題に興味を持ち、学びたいと思ったからです。「沈黙の春」を読んだ事。また、小学生時代のDDT農薬中毒経験もありました。

熊原敏子 42歳の時、当時、娘が高校受験で、一緒に勉強するつもりで、放送大学の開校1年目から入学。

馬場輝夫 職を辞して、さしたる目標もなく過ごして

いた時、たまたま近所の書店で放送大学が募集中である事を知り、応募しました。

Q 一番面白かった講義

熊井 面接授業「中国・アジアの伝統工芸建築様式」。環境実験をグループ形式で行い、グループ毎にディスカッションし、発表する参加・体験型でとても楽しく面白かったです。

川崎 二「錯覚の科学」。熱中している、目の前を通っても見逃してしまう事など、感覚や知識のあいまいさを知ることができました。

熊原 二初めて受講した「古代中国の思想」。

馬場 二安藤洋子先生に面接・指導をしていただいた。「着心地と洗濯の科学実験」はグループ単位で共同実験者として、最も楽しく面白い時間でした。

Q 記憶に残っている事

熊井 二英語の面接授業で「一切、日本語で話さない」ことが辛くて、逃げ出したくなりましたが、台所仕事

の合間にも英語のテープを聴く努力を重ね、仲間にも助けられ、乗り越えられた事は、とても貴重な体験で、記憶に鮮明です。私の宝物です。

川崎 二孫の誕生と合わせて、乳幼児心理学を学んだ事で、成長プロセスを確認する事ができ、役立ちました。

熊原 二卒業論文の担当の教授に、卒業後も先生のゼミ、学会に入れて頂き、以後10数年後、大学院で同じ俳諧研究で論文を書いた事。

馬場 二福田先生の面接授業中で聴いた「シヨパンの生涯とその作品」をはじめとして、「リスト」や「西洋音楽研究」等で曲の数々が、今でも記憶に残っています。

Q 在学生へのアドバイス

熊井 二学習を継続するには家族の協力と自分が健康であること。自分を信じて、あきらめず、力まず、無理をせず、諦めずに学ぶこと。

川崎 二興味を持ち続けること。変化の激しい時です。アップグレードするチャンス

を放送大学の活用で学びましょう。

熊原 二素晴らしい先生、先輩、友人に出会えたこと、学問を通して、自分の世界が広がります。

馬場 二グループでお付き合いができること、いろいろと情報が入りますし、友だちはいた方が良いでしょう。私も先述の洗濯グループさん、その後もお世話になりました。

Q 今後の目標

熊井 二放送大学は、心のより所です。選科履修生として、再入学いたしました。

川崎 二残りコースの修了と自己啓発として、学び続けたいと思っています。

熊原 二6コースを修了すること。俳諧研究を進めること。学生の皆さまと俳句の学習会を築きむために、自ら俳句を学ぶこと。

馬場 二いつか読もうと思っ、若い頃買った「日本の歴史」がほこりを被っています。私がページを開くのを待っているんです。

“楽しみながらゆっくい体をほぐそう”

—気功・ストレッチ サークル「ラルゴ」— 鈴木智義

サークル「ラルゴ」は、参加者のそれぞれの体力に合わせて【ゆっくりと体を動かして固まりがちな筋肉をほぐそう】という中国気功を取り入れたストレッチ・サークルです。17〜18年ほど前にこのような目的で発足し、現在も変わらない方式で活動しています。「ラルゴ」とは「ゆっくりと」という意味の音楽用語から名付けたものです。

まず、気持ちをリラックスするヒーリング音楽に合わせて、女性リーダーに従い徐々に体を動かす準備運動をします。続いてバレエ式のラジオ体操をして体を慣らします。次に中国で800年前から受け継がれてきた気功のひとつで、8つのフォームからなる「八段錦」をします。この八つの基本フォームを4回ずつゆっくり繰り返して全身の筋肉を動かします。これによりかなり体が温まり汗ばみます。ここで、しばし小休止をとり、水分を補給します。

次に、気功の「二十四式」のうちから14のフォームを選びすぐった「十四式」に進みます。これはスポーツジムなどで行われるハードな筋トレではなく、ゆっくりと全身の筋肉を動かすもので、筋肉の持続力が鍛えられます。このため体力の衰えた高齢者や、体どこか故障のある人にも適した筋トレです。各人ができる範囲で自分に適したように体を動かすことで体力の低下防止と維持増進が図れます。各ストレッチ運動では特に下半身の筋肉を重点的に鍛えるようにしています。これはいつまでもしっかり歩け、

また歩行中の転倒防止にも役立つことを期待して実施しています。

終盤では、静かなストレッチ運動により心身のクールダウンをします。最後は部屋の照明を消して、暗いなかで手足を伸ばしマットに横になり、目を閉じてしばし瞑想します。なかにはその間に眠ってしまう、照明をつけても起き上がらない人もいて皆の笑いを誘います。このことでも運動の効果と心の癒し効果を実感できると思います。

現在は、大島会長と山口リーダーを中心として10数名が活動しています。毎週水曜日の午後1時30分から3時まで、8階の講堂で実施しています。衣類は動きやすい軽装であれば何でもOKです。

会費は1回300円または月額1,000円の一括払いです。見学は無料ですので、是非一度のぞいてみてください。また活動の後の親睦会を毎月1回行って楽しく談笑するひと時を持っています。活動予定日は8階のサークル用掲示板に記してあります。

“見学大歓迎 !!”です。お待ちしております。



編集後記

就寝前のひと時、突然の地震速報に驚かされた。東日本大震災の後、日本列島の地下は未だに揺れ続けているかのようだ。単位認定試験が間近に迫っているが、フェスタ実行委員会の諸氏は連日の準備作業に邁進している。昨年以上の楽しいフェスタが期待できる。(冬)